多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年10月 27日

派遣者氏名（専門分野）	筒井はる香 （音楽学）
-------------	-------------

派遣期間	2012年 7月 29日 ～ 2012年 9月 26日
------	-----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
オーストリア	ウィーン	オーストリア国立国会図書館、ウィーン音楽大学、ウィーン技術博物館

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

- ① オーストリア国会図書館 Österreichisches Nationalbibliothek（音楽部門）
- 主に音楽部門 **Musiksammlung** を利用した。8月、9月は開館時間が短く、9時から13時まで。利用するごとに入場料が必要だが、今回のように長期滞在する場合は、年間利用カードを作成してもらうと便利である。手続きとしては、利用申請書に必要な事項を記入し（現地での住所、日本の連絡先、パスポート番号など）、10ユーロを支払うのみ。このカードがあれば、オーストリア国会図書館のあらゆる部門を利用できる。
- 私が利用した音楽部門は、音楽辞典や作曲家の全集や伝記などの書物を除くと、ほとんどの楽譜や書物は閉架である。そのため、オンライン検索で必要な文献を予約する必要がある。
- 検索画面 http://www.onb.ac.at/sammlungen/musik/musik_bestaende.htm に「自筆譜」「楽譜」「遺稿」「録音媒体（CD、レコード）」「本、雑誌」の項目がある。該当する項目を選び、キーワードを入れて検索する。午前10時半までにオンラインで予約すれば当日中に手元に届く（それ以降の場合は、翌日になる）。予約する際には、利用カードの番号とパスワードの入力が必要。
- 音楽関係の書物や楽譜はほとんどの場合音楽部門にあるが、場合によっては別の部門に所蔵されていることもある。資料は自分でコピーすることができる（A4一枚10セント、A3は20セント）。ただし古い書物や自筆譜の場合は、複写依頼をする。必要書類に記入して注文すると二、三日後に届けられる。写真撮影は禁じられている。
- ② 探している資料が①のオーストリア国会図書館にない場合、オーストリア国内にある市立・国立図書館の総合目録 **Österreichischer Bibliothekenverbund Gesamtkataloge** を利用した。 <http://aleph20-prod-acc.obvsg.at> このオンラインカタログは非常に便利である。
- ③ ウィーン市立図書館 **Wienbibliothek im Rathaus**
- 市庁舎のなかにある図書館。利用申請書を記入するとその場で利用カードを渡してもらえ、費用は不要。オンラインカタログ <http://www.wienbibliothek.at/index.html> に「楽譜」「自筆稿」などの項目があり、検索方法は①に準ずる。午後3時までに予約すれば、翌日に見ることができる。すべての資料は写真撮影が可能。